



学生相談室 相談員
法学部教授
大楠 栄三

相 談 室 の 窓 か ら

急かさないでください

相談に来る学生は、皆こわばった顔をしている。なにか重い物を背負っているかのように。話を聴いていると、総じて「背負わされている」ことが見えてくる、親の「重い思い」を。そんなとき思い起こすのは、自由になったと感じた17才の夏のことだ……

当時、会席料理屋で「坊^{ぼん}」、つまり雑用全般をしていたぼくは、ハイカラな「揚場」の兄貴に連れられ喫茶店でモーニングをとるのが日課となっていた。零時すぎまで働き、その上、「親父」さんと同居し身の回りの世話までしていたぼくにとって、「煮方」の兄貴が市場での仕入れから帰ってきて出汁取りがはじまるまでの朝が唯一の憩いとき。煙草のけむる屋内から、ガラス越しに外を見ていた。初夏の白い光のなか、自転車に乗った高校生たちが、じゃれ合いながら通りすぎていく。その時ふと思った——「もういいか」。そして、「勉強でもしてみるか」。

親の期待を背負って、中高一貫校に入りがむしゃらに勉強したぼくは、成績もぐんぐん上がって、高校進学時には学校で一番になった。しかし、同級生と起ち上げたラグビー部を、父に「何のために進学校にやったと思っているんだ」と言われ辞めた後、あらゆる気力を失い家出。そんなぼくに、大そうなものではないが何か意欲がわいた瞬間だ。

昭和一桁生まれで、農家の長男、苦勞してどうにか大学に行った父には、強いこと、頑張ることを尊ぶ思考パターンがこびりついてた。やる気が起きないといった息子の弱音を許容するなど到底できない。追いつめられたぼくは、死ぬよりましか、という軽い考えで行方をくらましたのだった。

このコラムを読んでくださる明大生の親御さんをお願いしたい——どうか、ご自分の思いを子に背負わせないでほしい、子が自分なりの価値観を見つけるまで、急かさないでほしい、その「瞬間」は必ずやって来るのだから。

学 生 相 談 室 について

駿河台キャンパス…… 大学会館2階 TEL:03-3296-4217
和泉キャンパス…… 第一校舎2階 TEL:03-5300-1178
生田キャンパス…… 中央校舎2階 TEL:044-934-7619
中野キャンパス…… 低層棟4階 TEL:03-5343-8080

開室時間

月～金 10:00～17:00 土 9:00～12:00(原則隔週*)
※土曜日は原則として隔週の開室となりますので、事前に相談室にご連絡の上、開室をご確認ください。

- 相談の予約は開室時間内に入室、または電話にてお受けします。
- 予約状況などから、面談が翌日以降になる場合もありますので、ご了承ください。
- 夏期休暇中、入試期間中など開室時間を変更する場合がありますので、ホームページをご確認ください。

<https://www.meiji.ac.jp/soudan/>